

8 消耗部品の交換方法

日々の作業を安定して能率的に行うために、作業前・作業後のメンテナンス・早い時期の消耗部品の交換をお勧めいたします。

以下の「消耗部品の交換方法」をよくお読みいただき、正しく作業を行ってください。

⚠ 警告 消耗部品の交換やメンテナンスを行う時は、必ず電源プラグを手で持ってコンセントから抜き、作業を行ってください。プラグを差し込んだまま作業を行うと感電する危険性があります。

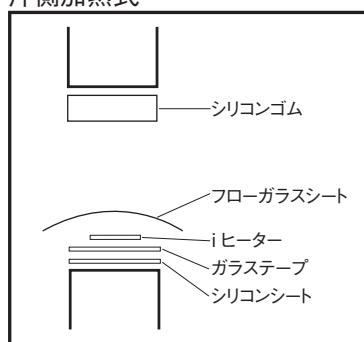
⚠ 警告 取扱説明書に記載されている以外の間違った方法で交換すると機械が正常に動かないばかりか、感電や火傷をする危険性があります。

⚠ 警告 消耗部品は必ず弊社指定の部品をご使用ください。指定外の部品を使用されると製品の性能が正しく発揮できないだけでなく、故障の原因にもなります。

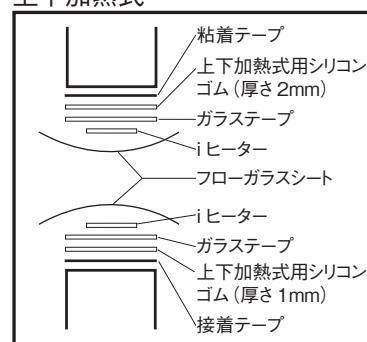
シール部の構造

シール部は下のイラストの部品から構成されていますので、部品交換の時は順番を間違えないように取り付けてください。

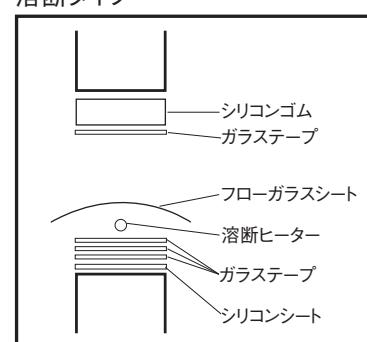
片側加熱式



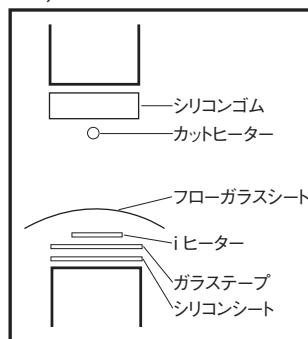
上下加熱式



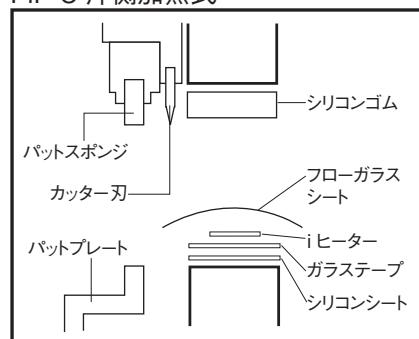
溶断タイプ



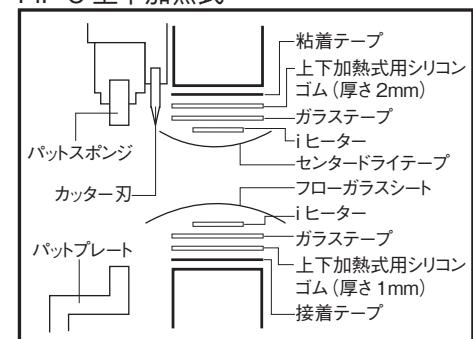
5C,10C タイプ



FiF-C 片側加熱式



FiF-C 上下加熱式



消耗部品の販売について

消耗部品は長時間の使用で損傷し、シール状態が悪くなっています。傷んだ部品を続けて使用すると故障の原因となりますので予備品を手元に置かれ、適時交換してください。

消耗品の販売につきましては「14 消耗部品一覧」に掲載しておりますので、ご注文の際にご活用ください。

製品名・品名・数量を明確にご指定の上、製品をお買い上げいただいた富士インパルス取扱店へご注文ください。

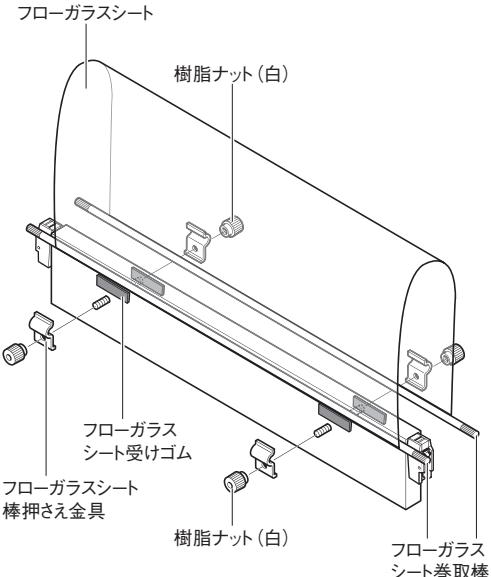
8-1 フローガラスシートのずらし方

【必 要 物】 ハサミ

【交換の目安】 フローガラスシートが破れた、焦げた、シールが汚い

フローガラスシートは予備として 25 ~ 30cm フローガラスシート卷取棒に巻いてあります。残り少なくなった場合は「8-2 フローガラスシートの交換」を参照して、フローガラスシートをシートごと交換してください。

- 1 フレームの前後にある樹脂ナット(白)を緩めるとフローガラスシート巻取棒が回るようになります。
- 2 傷んだフローガラスシートを前へ移動させるときは、前部のフローガラスシート巻取棒、後へ移動させるときは後部のフローガラスシート巻取棒を動かし、巻き取るようにしてください。
フローガラスシートがヒーターに引っ付いている場合は、はがしてから巻き取るようにしてください。

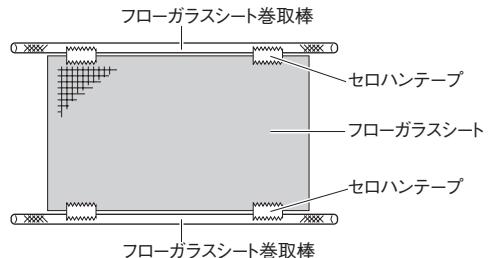


8-2 フローガラスシートの交換方法

【必 要 物】 ハサミ、セロハンテープ

【交換の目安】 フローガラスシートが破れた、焦げた、シールが汚い

- 1 フレームの前後にある樹脂ナット(白)を緩めて、フローガラスシート巻取棒を取り、古くなったフローガラスシートを外してください。
- 2 フローガラスシート巻取棒に新しいフローガラスシートをセロハンテープなどを使って貼り付けます。
- 3 フローガラスシート巻取棒を元の位置に取り付け、1で外した樹脂ナット(白)で仮止めをします。
- 4 フローガラスシートがヒーター上部でシワにならないようにフローガラスシート巻取棒を回します。
- 5 4で仮止めした樹脂ナット(白)を回し、締め付けて固定します。



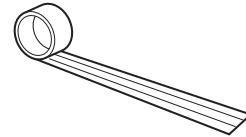
8-3 センタードライテープの交換方法 (対象: FiF-C 上下加熱式)

【必 要 物】 ハサミ

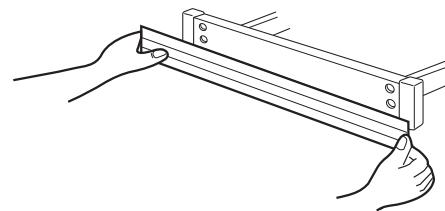
【交換の目安】 センタードライテープが破れた、焦げた、シールが汚い

圧着レバーに貼り付けているセンタードライテープを新しいセンタードライテープに貼り替えます。

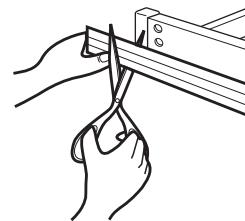
1 粘着テープが付いている面を圧着レバーの方に向け、センタードライテープを貼り付けてください。



2 シール部の長さに合わせてテープをハサミなどで切ってください。



3 センタードライテープのもう一方側の粘着テープをスライドノブと圧着レバーの隙間に差し込んで貼り付けてください。



注 ! センタードライテープの中心にヒーターが位置するようにして、センタードライテープの両サイドを圧着レバーに貼り付けてください。
センタードライテープにシワがある状態で貼り付けると、シールにもシワ模様ができます。

8-4 ヒーターの交換方法

(対象: 片側加熱式、上下加熱式)

【必要物】 プラスドライバー

六角レンチ 3mm (1500型のみに使用)

【交換の目安】 ヒーターが切れた、シールが汚い、シール面に凸凹が発生した

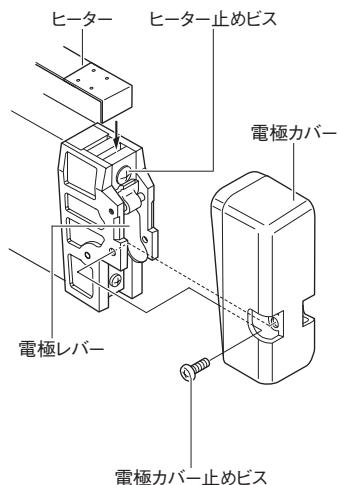
■ シール長さ 800、1000、1200mm タイプのヒーター交換

- 1 ヒーターはフローガラスシートで覆われています。「8-1 フローガラスシートのずらし方」「8-3 センタードライテープの交換方法」を参照して、フローガラスシート、センタードライテープを外してください。
- 2 プラスドライバーで電極カバー側面の電極カバー止めビスを緩めて取り、電極カバーを外します。
- 3 電極レバーを上側のヒーターの場合は下方向に、下側のヒーターの場合は上方向に起こし、ヒーター止めビスをプラスドライバーで緩めてください。
- 4 ヒーター止めビスを緩めると傷んだヒーターを取り外すことができます。
- 5 電極レバーを上側のヒーターの場合は下方向に、下側のヒーターの場合は上方向に起こしたまま新しいヒーターを電極の溝に挟み、ヒーターが電極から浮かないように押えながらヒーター止めビスをしっかりと締めた後、電極レバーを上側のヒーターの場合は上方向に、下側のヒーターの場合は下方向に戻してください。



安全のため、ヒーター交換後は必ず電極カバーを取り付けてください。

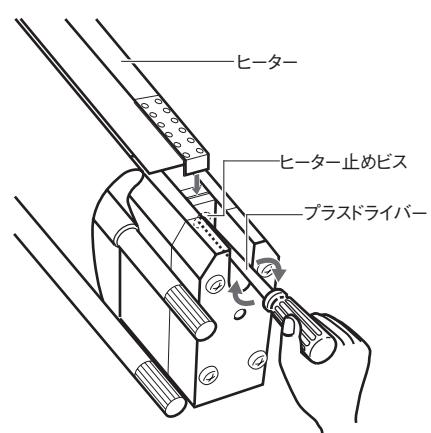
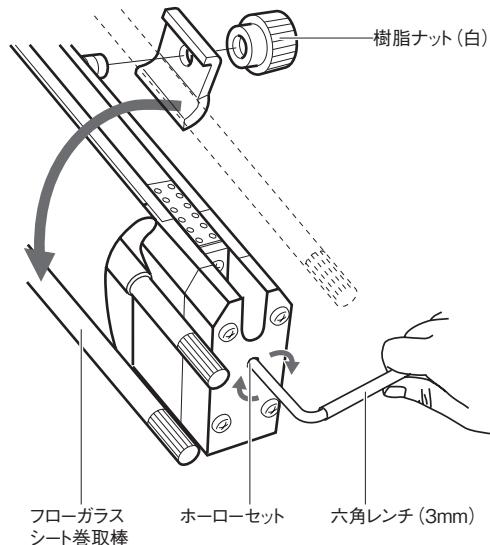
交換用ヒーターは必ず弊社指定の専用ヒーターをご使用ください。専用ヒーター以外のヒーターを使用されると、トランクス焼損の原因となります。



●シール長さ 1500mm タイプのヒーター交換方法

- 1 ヒーターはフローガラスシートで覆われています。フローガラスシート巻取棒を固定している樹脂ナット(白)を緩めて、ヒーターが見えるようにフローガラスシート巻取棒をシール部の手前に持ってきてください。
- 2 両側にある電極のホールーセットを六角レンチで右側にゆっくりと回して、ヒーターをたるませてください。
- 3 ヒーター止めビスをプラスドライバーで緩めて、ヒーターを取り外してください。
- 4 新しいヒーターを溝に挟み、ヒーターが電極から浮かないように押ながらヒーター止めビスをしっかりと締めて、ホールーセットを六角レンチで左側方向にゆっくり回してヒーターが張った状態に戻してください。フローガラスシート巻取棒を元の位置に戻して樹脂ナット(白)で固定してください。

△ 注意 交換用ヒーターは必ず弊社指定の専用ヒーターをご使用ください。専用ヒーター以外のヒーターを使用されると、トランクス焼損の原因となります。



8-5 溶断ヒーターの交換方法

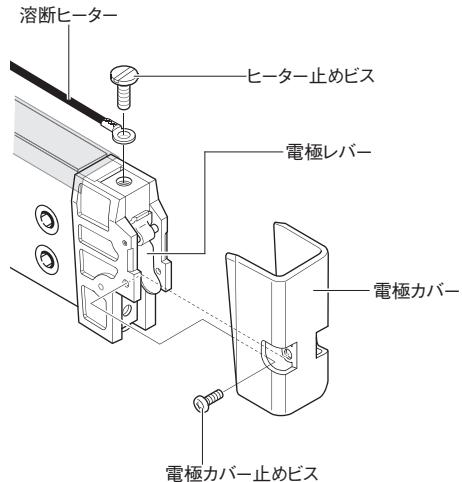
(対象: 溶断タイプ)

【必 要 物】 プラスドライバー、マイナスドライバー

【交換の目安】 ヒーターが切れた、溶断が汚い

⚠ 警告 シール幅(ヒーターの幅)が異なるヒーターへの交換は絶対にしないでください。

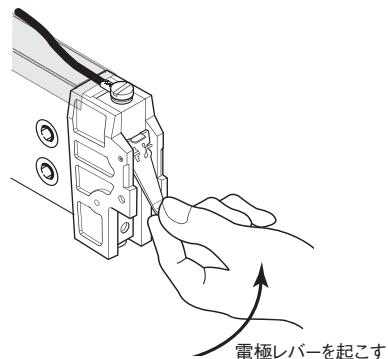
- 1 ヒーターはフローガラスシートで覆われています。「8-1 フローガラスシートのずらし方」を参照して、フローガラスシートを外してください。
- 2 プラスドライバーで電極カバー側面の電極カバー止めビスを緩めて取り、電極カバーを外します。



- 3 電極レバーを起こし、ヒーターの張りを緩めます。
- 4 ヒーター止めビスをマイナスドライバーで緩めるとヒーターが外せます。
- 5 取り付けの時は、電極レバーを起こしたままの状態で、電極からヒーターが浮かないようにヒーター端子を指で押さえながらヒーター止めビスで締め付けて固定します。
- 6 ヒーターを固定したら、電極レバーを元の状態に戻してヒーターを張ります。
- 7 2で外した電極カバーを取り付けます。

⚠ 注意 安全のため、ヒーター交換後は必ず電極カバーを取り付けてください。

交換用ヒーターは必ず弊社指定の専用ヒーターをご使用ください。専用ヒーター以外のヒーターを使用されますと、トランス焼損の原因となります。



8-6 カットヒーターの交換方法

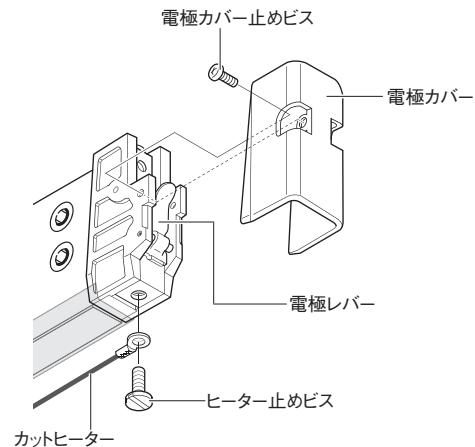
(対象: 5C、10C タイプ)

【必要物】 プラスドライバー、マイナスドライバー

【交換の目安】 ヒーターが切れた、溶断が汚い

△ 警告 シール幅(ヒーターの幅)が異なるヒーターへの交換は絶対にしないでください。

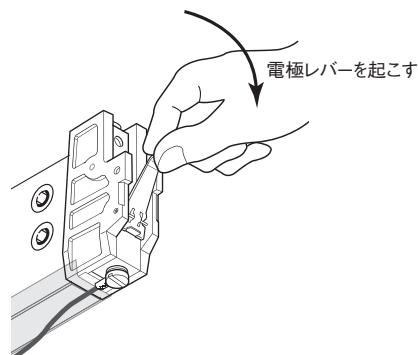
- 1 ヒーターはフローガラスシートで覆われています。「8-1 フローガラスシートのずらし方」を参照して、フローガラスシートを外してください。
- 2 プラスドライバーで電極カバー側面の電極カバー止めビスを緩めて取り、電極カバーを外します。



- 3 電極レバーを起こし、ヒーターの張りを緩めます。
- 4 ヒーター止めビスをマイナスドライバーで緩めるとヒーターが外せます。
- 5 取り付けの時は、電極レバーを起こしたままの状態で、電極からヒーターが浮かないようにヒーター端子を指で押さえながらヒーター止めビスで締め付けて固定します。
- 6 ヒーターを固定したら、電極レバーを元の状態に戻してヒーターを張ります。
- 7 2で外した電極カバーを取り付けます。

△ 注意 安全のため、ヒーター交換後は必ず電極カバーを取り付けてください。

交換用ヒーターは必ず弊社指定の専用ヒーターをご使用ください。専用ヒーター以外のヒーターを使用されると、トランクス焼損の原因となります。



8-7 ガラステープの交換方法

【必 要 物】 はさみ、プラスドライバー

【交換の目安】 ヒーターがよく切れる、シールが汚い等

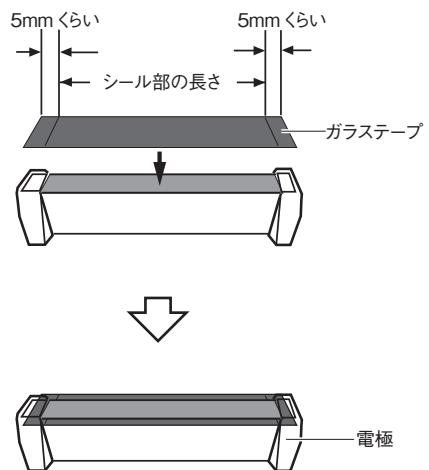
ガラステープ、シリコンシートは単品販売、補修部品セット販売しています。

- 1 フローガラスシート、ヒーターの交換方法を参照して、フローガラスシート、ヒーターを取り除いてください。

注！ 粘着のりが残っている上にシリコンシート、ガラステープを貼りますと、シール面に悪影響をおこします。

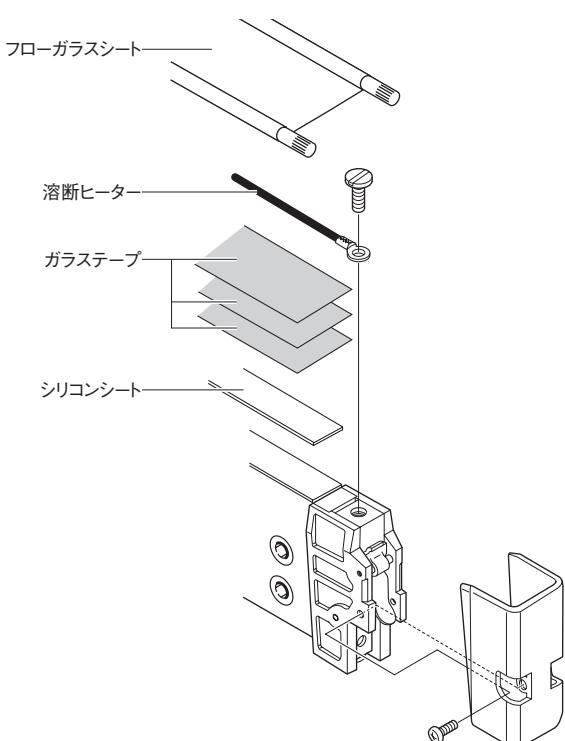
- 2 ヒーター下側のガラステープとシリコンシートをきれいにはがしてください。
- 3 ガラステープをシリコンシートの上に重ねて貼り付けます。約 5mm ずつシール面の外側（電極の上）から貼り付けてください。（1枚）

注！ ガラステープ交換の際に、シリコンシートのシール受け板への貼り付け粘着力が低下していましたらガラステープとともにシリコンシートも交換してください。



溶断タイプ

注！ 溶断タイプは右イラストを参照して、ガラステープを 3 枚重ねて貼り付けてください。



8-8 シリコンシートの交換方法

(対象: 片側加熱式、5C,10C タイプ、
FiF-C 片側加熱式)

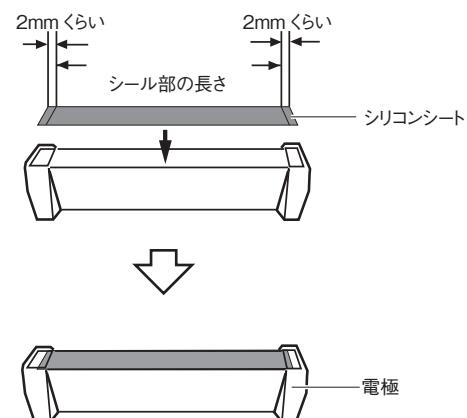
【必要物】 ハサミ、プラスドライバー、アルコール(エタノール)

【交換の目安】 ヒーターがよく切れる、シールが汚い

△ 注意 ヒータ下部のシリコンシートが傷んだり焼損するとヒーターの絶縁不良や、シール不良の原因となりますので、ヒーターの交換時には必ず点検し、必要に応じて貼替えてください。

- 1 フローガラスシート、ヒーター、ガラステープを取り外してください。
- 2 ヒータ下部のシリコンシートをきれいにはがしてください。
- 3 シリコンシートの両端が電極に 2 mm ずつかかるようにカットして、電極の上に重ねるように貼り付けてください。

注! 粘着のりが残っている上に貼り付けると、シール面が凸凹し、シールに悪影響を起こしますので粘着のりをきれいにアルコール(エタノール)で取り除いてください。



8-9 シリコンゴムの交換方法

【必 要 物】 アルコール(エタノール)

【交換の目安】 シリコンゴムの表面が凸凹になっている

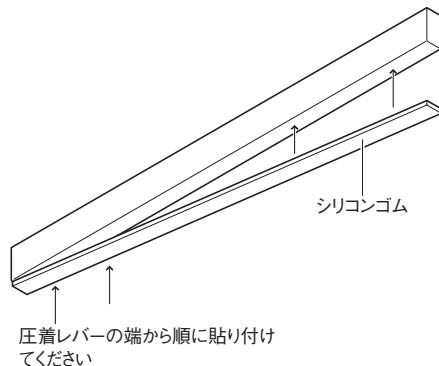
- 1 フローガラスシート、ヒーター、ガラステープを取り外してください。
- 2 シリコンゴムをはがし、粘着のりをアルコール(エタノール)できれいに拭き取ってください。

注！ 粘着のりが残っている状態でシリコンゴムを貼ると、きれいなシールに仕上がりません。

- 3 新しいシリコンゴムには、粘着テープがついています。剥離紙を外し、端から順に貼ってください。

△ 注意 上下加熱式の場合、圧着レバー(2mm)とシール受け板(1mm)でシリコンゴムの厚みが違います。

注！ 溶断タイプにはシリコンゴムの上に附属品のガラステープを1枚貼り付けてください。



8-10 カッター刃、パットスポンジの交換方法

(対象 :FiF-C)

【必 要 物】 プラスドライバー、スパナ

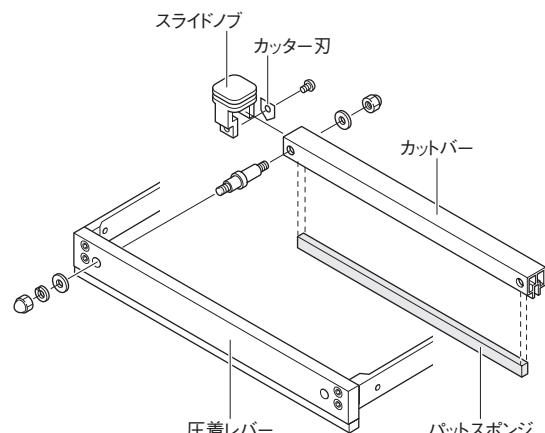
【交換の目安】 カッターの切れが悪い等

カッター刃、パットスポンジは単品販売しています。

- 1 圧着レバー前面の袋ナットをスパナなどで緩めるとカットバーのユニットが外れます。
- 2 カッター刃はスライドノブにビスで固定してありますのでプラスドライバーで緩めて交換してください。
- 3 パットスポンジはカットバーユニットを圧着レバーから外した状態でも、取り付けてある状態でも、手で抜き差し交換できます。

△ 注意 カッターの刃に充分注意して作業を行ってください。特にカットバーのユニットを圧着レバーから外す前はカッター刃が見えにくい状態ですのでカッターのある位置を確認して触れないように注意しながら作業を行ってください。

△ 注意 パットスポンジを交換する時もカッター刃の交換と同様にカッター刃に充分注意して抜き差し作業をしてください。

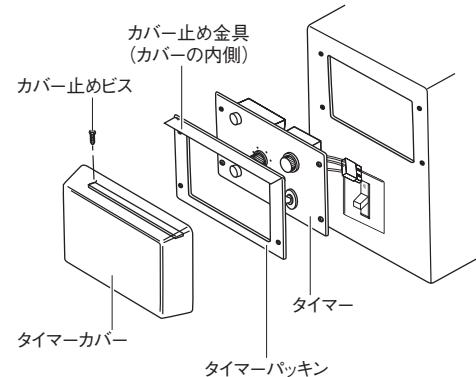


8-11 タイマーの交換方法

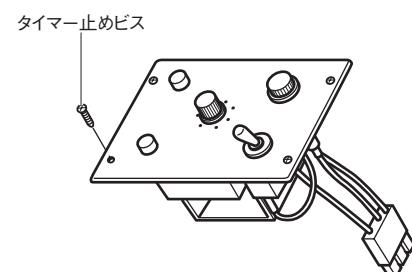
△ 注意 タイマーは、IC、半導体、精密電子部品から構成されており、分解などすると故障の原因となりますので交換時以外は取り外さないでください。

【必要な工具】 プラスドライバー

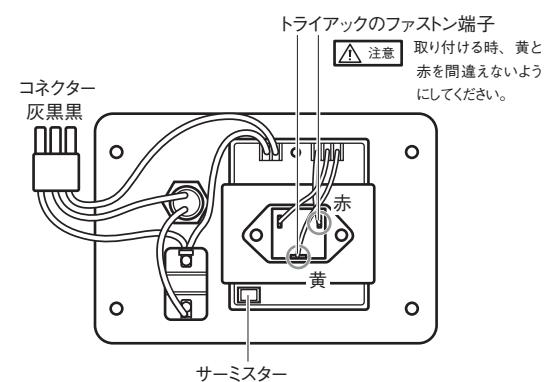
- 1 タイマーカバーのカバー止めビスをプラスドライバーで取り外し、タイマーパッキンを取り外してください。



- 2 タイマー止めビス(4ヶ所)をプラスドライバーで取り外して、タイマー自身を引き出してください。



- 3 タイマー裏側のコネクター、ファストン端子、サーミスターを外してください。



- 4 取り付ける時は、カバー止めビスはあらかじめタイマーカバーに取り付けた状態にしてください。タイマーパッキンは右図のようにタイマーの表から引っ張りながら広げてはめこんでください。

